

# 高松市の国際交流：フランス

香川県高松市観光交流課都市交流室

香川県高松市は、現在アメリカ、フランス、中国の都市と姉妹・友好都市提携を結び、相互訪問・相互派遣や周年事業を通じた親善交流を行っています。中でも、フランス・トゥール市とは近年交流が活発化しており、2014年10月にはクレアと協力し、フランスと日本の自治体が参加する「日仏自治体交流会議」を開催するなど、フランス自治体との関わりが深まっています。

## 姉妹都市トゥール市との交流

### ○これまでの交流

フランス・パリの南西約235km、TGVで約1時間の所に、本市の姉妹都市、トゥール市があります。トゥール市は、人口約13万8,000人、アンドル・エ・ロワール県の県都で、現在も、中世以来の王侯貴族の城や庭園が数多く残っていることから「フランスの庭」と呼ばれています。また、2013年8月には、3年におよぶ工事を終え、南北15kmを縦貫する「トラム」と呼ばれる路面電車が開通し、歴史的景観に新たな都市機能が調和し、都市としての魅力がますます高まっています。



トゥール市を走るトラム（路面電車）

トゥール市とは、1988年、姉妹都市提携を結び、以降、公式訪問団や市民親善訪問団による相互訪問、行政研修生・留学生の派遣、また、トゥール市で開催されたトゥールフェアへの出展、本市でのトゥール美術館展やフランス宮廷音楽合奏団の公演など、経済、教育・文化において多様な交流

を行うとともに、民間レベルでも、本市の市民グループがトゥール市で生け花展を開催するなどの人的交流が行われてきました。

最近では、両市の小学生が野菜の種を交換し、自ら育成・収穫・調理することで、情操教育や食育、国際交流・国際理解の深化を目的とするボナペティ事業や、トゥール市在住のチーズ熟成士世界チャンピオンが本市の小学校を訪れチーズ講習会を実施するなど、食を通しての交流を盛んに行っています。また、2012年度からは、青少年親善研修生派遣事業を開始、2014年度からはクレアパリ事務所へ職員を派遣します。職員がフランスに駐在することで、距離や時差といったハードルも低くなり、両市の交流の輪のさらなる広がりを期待しています。

### ○姉妹都市提携25周年記念式典

ちょうど2013年は、トゥール市との姉妹都市提携25周年にあたる年で、トゥール市公式訪問団を迎え、10月30日、高松市美術館にて記念式典を開催し、参加した市民とともに25周年を祝いました。



トゥール市との姉妹都市提携25周年記念式典の様子

また、市の中心部にある丸亀町商店街では、(公財)高松市国際交流協会により「French Week」と題した、フランスのマルシェやカフェなどを中心としたイベントを開催しました。

### ○CIRの活用

本市では、2013年7月末から、JETプログラムによりフランス人国際交流員を配置しています。本市にとって初めての国際交流員です。業務としては、通訳・翻訳をはじめ、地域の国際交流イベントへの参加や市内の小・中学校への学校訪問などを担当しています。学校訪問では、講演やゲームを通じて、フランスへの関心を高めることで、児童・生徒の国際感覚の醸成を図り、将来、国際社会で活躍する人材の育成に取り組んでいます。

## 第4回日仏自治体交流会議の開催

日仏自治体交流会議は、2008年に金沢市とその姉妹都市であるナンシー市の呼びかけにより初めて開催されました。これまでの日仏の姉妹・友好都市間における対一の交流の枠を超え、両国の自治体関係者が一堂に会し、行政課題や先進施策などについて発表・議論を行い、両国の地方自治の発展に寄与することを目的とする会議です。

この会議は、第1回ナンシー市、第2回金沢市、第3回シャルトル市と、フランスと日本で2年毎に交互に開催されており、第4回会議が、2014年10月に本市で開催されます。

また、今回の会議は、昨年、日仏両国首脳間で交わされた「日仏共同声明」の中でも言及されるなど、国レベルでも注目が高まっており、今後の日仏交流の一層の促進に寄与するものとなっています。2013年10月には、準備会合である日仏合同推進委員会が本市で開催されました。

クレアパリ事務所にフランス側出席者との連絡調整、意見集約を担当いただき、第4



日仏合同推進委員会代表者会議の様子

回会議の概要(テーマ、日程など)決定にいたりしました。会議開催に向け、現在もクレアのほか、日本での前回開催地である金沢市とも連携し準備を進めているところです。

| ＜第4回日仏自治体交流会議の概要＞ |  |
|-------------------|--|
| 開催日程              | 2014年10月28日(火)～30日(木)<br>1日目 歓迎レセプション<br>2日目 オープニング、全体会、分科会<br>3日目 全体会、クロージング  |
| 会議テーマ             | 「グローバル時代において、地域経済の活性化を図るために自治体は何をなすべきか」  |
| 会場                | 全体会：かがわ国際会議場<br>分科会：サンポートホール高松会議室  |
| 分科会               | 第1分科会：<br>産業～農業、工業、商業、観光など<br>産業分野全般における活性化への取り組み<br>第2分科会：<br>文化～文化や人的交流を通じた地域<br>経済活性化への取り組み<br>第3分科会：<br>都市開発～都市交通、環境、エネルギー<br>など都市の持続可能な開発への<br>取り組み |

なお、会議に併せて、市内や瀬戸内国際芸術祭の舞台となった直島での視察プログラム、地元経済界や本市の大学関係者、大学生とフランス自治体関係者との交流会も予定しております。

## 点から線、線から面へ

現在、本市では、産業、ものづくり、観光、文化・スポーツ、国際交流などに関する施策を一体的に推進し、都市ブランドイメージの向上を図る高松らしい「創造都市」の取り組みを進めています。

小さな点から始まったフランスとの交流は、トゥール市との交流の積み重ね、フランス人CIR、クレアパリ事務所への職員派遣と、たくさんの点が重なり、太い線となりました。2014年の第4回日仏自治体交流会議の開催は、「瀬戸の都・高松」の魅力国内外に発信し、「創造都市・高松」を推進する絶好の機会であるとともに、フランスとの交流が線から面へと進む機会となると考えています。